

訂正 10/2 11.その他 誤) 大会前日、1日目終了後シートや～認める

正) 1日目終了後シートや～認める

競技注意事項

1. 競技規則について

本大会は、2024年度（公財）日本陸上競技連盟競技規則ならびに本大会申し合わせ事項により実施する。

2. ウォーミングアップについて

- (1) 大会当日朝の練習については、7：30～8：45まで本競技場内での練習を認める。また、雨天走路および補助競技場を各自使用すること。
練習場は混みあう可能性があるため、練習の際は怪我・事故等のないように細心の注意を払うこと。主催者は一切責任を負わない。
- (2) 雨天走路はストレッチ・ドリル程度の使用とし、スパイクの使用や練習器具等を使用しての練習は禁止とする。
- (3) 投てき練習、跳躍練習は競技開始前に各ピットにて競技役員の指示により行う。
- (4) トラック内の芝生を使った練習は全面禁止とする。

3. 招集について

- (1) トラック競技の招集所は、第3コーナー付近（雨天走路内）に設ける。また、フィールド競技の招集は競技実施場所で行う。
- (2) 種目別の招集開始および招集完了時刻はプログラムの競技日程に記載する。
- (3) 2種目以上を同時刻に兼ねて出場する場合には、先に開始する競技の招集完了時刻よりも前に他種目同時出場届（招集所に用意）に記入して招集所（競技者係主任）に提出すること。
- (4) リレー競技はオーダー用紙(招集所に用意)を1チームにつき1部記入して、**招集完了時刻1時間前までに**招集所(競技者係主任)に提出すること。(リレーの編成についてはTR24.11を適用する)
- (5) 招集完了時刻に遅れたものは、欠場として処理する（当該種目のみ）ので十分注意すること。
- (6) シューズ検定については、審判長および競技役員が疑義を抱いた場合、検査を実施する。
- (7) TR6.3.2により、スマートフォン等の機器を競技場に持ち込むことはできない。
- (8) 競技者の準備が整った場合、競技開始時刻よりも前に競技を開始することがある。

4. 欠場について

- (1) 競技者の欠場は、原則として**10月4日(金) 12:00**までに専用フォーム（エントリー締切後HPにて公開）で受け付けた者のみとする。
- (2) 当日やむを得ない理由で欠場する者は、**各ラウンドの第1組招集開始時刻までに欠場届（招集所に用意）を招集所に提出すること。**その届け出た種目に限り欠場を認める。
- (3) **ラウンドや番組の変更の可能性があるため、事前に欠場が分かっている場合は必ず申し出ること。**
- (4) 今大会ではTR4.4を適用しない。

5. アスリートビブスについて

- (1) 番号は、2024年度東北学生陸上競技連盟登録番号とし、当連盟が作成、配布したものを使用すること。ただし、5000m、3000mSC、については、主催者側で用意したオーダー番号のものを使用すること。跳躍種目については、胸、背の一方だけでよい。
- (2) オープンレーンの種目に出場する競技者は、招集所にて配布する腰ナンバーカードをパンツの右横や後方に取り付けること。
- (3) 5000m、3000mSC で使用するオーダー番号については招集開始時刻までに自身のアスリートビブスを持参の上で招集所にて各自受け取り、ユニフォームに付けた状態で招集時の確認を受けこること。

6. 番組編成及び、走路・競技順について

- (1) トラック競技予選のレーン順、フィールド競技の試技順は、プログラム記載の順による。
- (2) トラック競技の準決勝・決勝の組み合わせ及びレーン順は、主催者が公平に番組編成を行い、その結果をWEB・結果の張り出し（招集所南側付近）によって連絡する。
- (3) **800m以下のトラック競技において、選手の棄権状況により出場選手が8名以下となった場合、予選ラウンドを実施せずに再度番組編成を行い、決勝ラウンドのみを開催する。その場合の競技時間はタイムテーブル記載の決勝ラウンドの競技時間に準じる。**
- (4) 男子200mについては準決勝を行わずA決勝・B決勝を実施する。

7. フィールド競技について

- (1) フィールド競技における持ち時間は、日本陸上競技連盟競技規則TR25.17に準じる。

(2) 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は、下記の通りとする。

種目		練習 A	練習 B	1	2	3	4	5	6	
走高跳	男	1m70	1m90	1m75	1m80	1m85	1m90	1m95	2m00	以後 3cm きざみ
	女	1m35	1m50	1m40	1m45	1m50	1m55	1m60	1m63	以後 3cm きざみ

種目		練習 A	練習 B	練習 C	1	2	3	4	5	
棒高跳	男	3m50	4m20	4m80	3m60	3m80	4m00	4m20	4m40	以後 10cm きざみ
	女	2m30	3m00	3m50	2m40	2m60	2m80	以後 10 cm きざみ		

※棒高跳の練習の高さは進行状況によって変更になる場合がある。

- (3) 優勝が決まった後にバーを上げる場合は、競技者は当該審判員あるいは審判長に希望の高さを申し出てから高さを決定する。
- (4) 走高跳及び棒高跳の第1位決定試技の際のバーの上げ下げは、走高跳は2cm、棒高跳は5cmとする。
- (5) 三段跳において、踏切板から砂場の近い方の端までの距離を男子は12m、女子は9mとし、競技を行う。ただし、風向きや競技者レベルに合わせて審判長が判断し男女ともに砂場までの距離を変更する場合がある。
- (6) 跳躍種目においては、**棒高跳では競技開始時刻の90分前から、それ以外の跳躍種目では競技開始時刻の60分前**から競技場所で練習を行うことができる。
- (7) 投てき種目においては、**競技開始時刻の45分前**から競技場所で練習を行うことができる。
- (8) フィールド種目に出場している競技者が、当該選手に代わり競技区域外にいる者によって録画された試技の映像を指定された区域内で見ることは助力とはならない。また、映像をより詳しく見るために、競技者が映像を撮影した人とコミュニケーションを撮りながら録画再生器を手にもすることも助力とはならない。

8. 競技用器具について

- (1) 競技用器具は、競技場備え付けのものを使用し、個人の器具を持ち込んで서는ならない。ただし、投てき物及び棒高跳用ポールに限り、個人所有のものを使用することができる。個人所有の投てき物については競技開始1時間前までに大会本部（技術総務）にて検査を受け、許可されたものでなければ使用できない。
- (2) 競技場は全天候舗装であるので、スパイクのピンは9mm以下のものを使用すること。ただし、走高跳・やり投では12mm以下のものを使用すること。
- (3) シューズの厚さに関してはWAの制限を超えないこと。
靴底の最大厚さは以下の通りとする。

種目	靴底の最大の厚さ	要件・備考
フィールド種目 (除：三段跳)	20 mm	全投てき種目と高さを競う跳躍種目および三段跳を除く、長さを競う跳躍種目に適用。 全フィールド種目で、靴の前の部分の中心点の靴底の厚さは、踵の中心点の靴底の厚さを超えてはならない。
三段跳	25 mm	靴の前の部分の中心点の靴底の厚さは、踵の中心点の靴底の厚さを超えてはならない。
トラック種目 (800 m未満の種目、ハードル種目を含む)	20 mm	リレーにおいては、各走者が走る距離に応じて適用する。
トラック種目 (800m以上の種目、障害物競走を含む)	25 mm	リレーにおいては、各走者が走る距離に応じて適用する。 競技場内で行う競歩競技の靴底の最大の厚さは、道路競技と同じとする。

- (4) シューズ検定については審判長および競技役員が疑義を抱いた場合、実施する。

9. 抗議について (TR 8 参照)

競技進行中に起きた競技者の行為、または順位に関する抗議は、その競技者、または代理人より結果が正式発表（アナウンス）されてから30分以内（次のラウンドがある場合は15分以内）に、担当総務員を通して口頭で審判長になさなければならない。審判長の裁定に不服の場合は、上訴申立書と預託金1万円を添えてジュリー（上訴審判員）に上告することができる。この預託金は、抗議が受け入れられなかった場合は没収される。

10. 表彰について

- (1) 各種目優勝者には優勝メダルを、8位までの入賞者には賞状を授与する。表彰式は3位まで行い、4位から8位までは受付で賞状を渡す。競技終了後大学毎に必ず受け取りに来ること。
- (2) 表彰の際は、大学指定のジャージまたはTシャツを着用し、商標名の入った服装は避けること

- (3) 成績の優れた男女各1名を最優秀選手として選出する。最優秀選手賞は、今大会中における成績を参考として、大会会長・大会委員長・大会副委員長の3者により決定する。

11. その他

- (1) 本大会は有観客開催とする。
- (2) 各所属の共用荷物の保管場所は、必要最小限に留め、個人的に場所を確保すること。雨天走路、更衣室を待機場所としての使用は禁止とする。また、その他、待機場所を制限することがあるので係の指示に従うこと。
- (3) 競技者の付き添いは一切認めない。従って競技者以外は、トラックならびフィールド内に立ち入ることはできない。
- (4) ユニフォームは各大学で審判員が同一チームと判断できるものを着用すること。
- (5) 開・閉会式共に、部旗のある大学は持参し、参加すること。開会式は部旗を持つ代表者1名、閉会式は原則全員参加とする。
- (6) 1日目終了後、シートやテントをチーム控え場所および陣地に置いていくことを認めるが、メインスタンドに置いていくことは認めない。また、紛失、破損について主催者は責任を一切負わない（各学校で風雨対策を行うこと）。
- (7) ゴミは各自、毎日持ち帰ること。
- (8) 前日練習は10月4日(金)14:00～17:00に本競技場を開放する。投てき競技の練習時間については別途連絡する。
- (9) 開門・閉門時間は以下の通りとする。

	(開門時間)	(閉門時間)
大会前日……………10月4日(金)	14:00	17:30
第1日目……………10月5日(土)	7:30	17:00
第2日目……………10月6日(日)	7:30	16:00

※進行状況により前後する可能性がある

- (10) 主催者は競技中の発病・負傷に対しては応急処置以外の責任を負わない。
ただし、2024年度公益社団法人日本学生陸上競技連合普通会員は、原則としてスポーツ安全保険に加入しているので、この保険が適用される場合がある。
- (11) 競技場及び周辺施設の器具などを破損した場合は、その大学から弁償代を徴収する。